

【東総地区】

経済生活～高校生のクレジット利用～

—ウィルス感染防止対策におけるキャッシュレスのあり方を含め—

1 はじめに

現代の販売方法の多様化とともに、インターネットショッピングの利用が増えている。また今年4月から成年年齢が18歳に引き下げられ、高校生が消費者として代金の支払い手段であるクレジットカードやスマホでの決済をすることが想定される。また、ウィルス感染防止対策としてますますキャッシュレス化が進んでいる現状もある。そこで契約に対して未成年者取消権が使えなくなることによる契約トラブルや起きてしまったトラブルへの対処法について、またクレジット利用に関するリスクなどの知識を授業で活かしたいと思い、このテーマを設定した。

2 研修計画

- (1) 令和4年5月24日(火) 研究協議・テーマの決定
- (2) 令和4年8月5日(金) 研修会 [会場：匠瑛高等学校 西城館2階地域交流室]
講師：一般社団法人日本クレジット協会クレジット教育センター 富田 佳奈 氏

3 研修内容

- (1) 【家庭基礎】【家庭総合】における該当する「内容」

C 持続可能な消費生活・環境
(1) 生活における経済の計画
(2) 消費行動と意思決定

- (2) 講義内容

- ① キャッシュレスにはどのようなものがあるか？
- ② なぜ「キャッシュレス決済」が広まったのか。
- ③ キャッシュレス化が進むことで期待されている効果とは？
- ④ 日本のキャッシュレス化の目標：2019年27%→2025年40%/将来80%
- ⑤ 買い物で使えるカードの比較
- ⑥ クレジットカードの支払い方法・主な支払い方式
- ⑦ 体験(クレジットカードリーダーを用いて)：お店でクレジットカードを使ってみる。暗証番号入力やサインの意味。IC取引では暗証番号・磁気取引ではサイン。
- ⑧ タッチ決済(QRコード決済は含まれない)は非接触型ICチップ・ICカードを利用している。…スピーディに決済完了する。セキュリティ面でも安心して利用できる。
- ⑨ ネットショッピングでの利用：「購入」「承諾」ボタンが購入内容を認めたことになる。
- ⑩ 安全なネットショップの選び方
- ⑪ ネットショッピングで安全に使うために
- ⑫ 利用明細のチェック
- ⑬ クレジット会社の安全・安心の取り組み：ICクレジットカード取引の推進/フィッシング詐欺の注意喚起/「セキュリティコード」や「ネット利用のためのパスワード」・「ID・パスワードの使い回し」

の注意喚起／不正なカード利用を防ぐ／カード利用時の確認／カード会員を守る

- ⑭ クレジットカードに仕組み（二者間契約・三者間契約）：消費者のメリット
- ⑮ クレジットカードの申し込みから発行までの流れ（審査のチェックポイント）
- ⑯ 個別クレジットの利用：クレジットカードとの違い
- ⑰ 消費者信用とは
- ⑱ 高校生として知っておきたいこと
- ⑲ トラブル事例
- ⑳ こんなときどうする：カードの紛失など
- ㉑ クレジット利用のまとめ



4 感想・考察

（参加者の感想）

- ・生徒によく伝えるべき点、考えさせたい内容も盛り沢山で大変有意義だった。
- ・導入部分でキャッシュレス決済が広まってきた理由とクレジットカードとスマホ決済の違い、プラスチックカードか携帯かの違いなどおもしろかった。
- ・実際家族がクレジットカードのスキミングに合い、不正利用されたが請求されなかったことの裏話や仕組みの謎が解けた。
- ・成年年齢の引き下げによってクレジットカードが持てると思っている生徒が多くいると思うので詳しく説明したい。

（考察）

講師による研修後、その内容について協議をした。多くの先生方がクレジットカードを利用している中で、改めて金額を確認し、その後に暗証番号を打つこと、利用明細書を確認することや支払い方法のチェックなどの重要性を確認した。教える立場であるにもかかわらず、普段何気なく行っていることの中で気付かされることが多かった。高校生に最も伝えなければならないことは「常にセキュリティ対策に関心を持つ」ことであるとの意見の一致をみた。

5 終わりに

昨年、2年生の家庭基礎での授業において、クレジットカードの説明後「やったー！来年はクレジットカードが持てるぞ！」と目を輝かせていた私のクラスの生徒のこの一言が本テーマを深めるきっかけとなった。クレジットカードのメリットとデメリットを理解する中で、重要なことは、自分で選択するために必要な情報を集めて検討する力と責任があることの自覚をもとに意思決定する力の2つの力であることを痛感した。

またそれは、生徒達には高校生活の中で、家庭科の授業だけではなくさまざまな体験を通して培われていく力であるのだろう。